

・研究部会紹介・

【ユニバーサルデザイン研究部会】

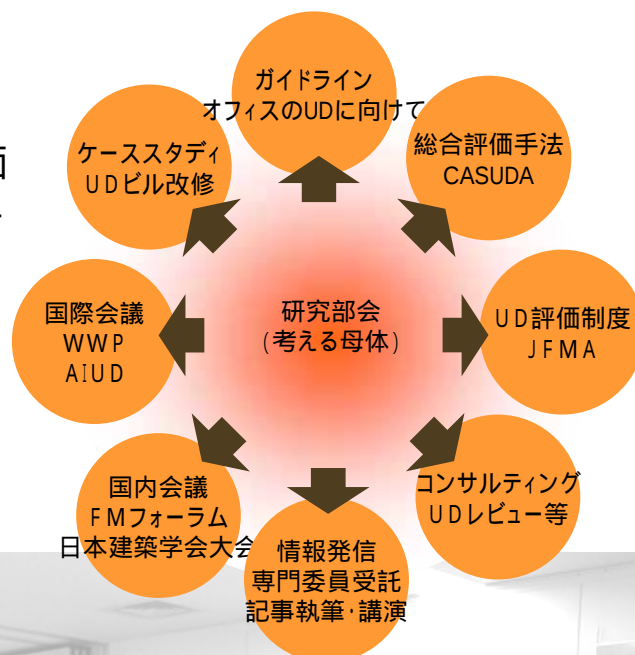
・研究テーマ

ミッション

ワークプレイスへのユニバーサルデザイン導入の価値を明らかにし、ユニバーサルデザイン導入の道具立てをつくる。

今年度のテーマ

オフィス3.0時代のユニバーサルデザイン
ビル&オフィス評価手法



・部会員紹介

- ・部会長 : 似内志朗(日本郵政)
- ・副部会長: 仲田裕紀子(コンセプトライン、JFMAジャーナル編集長)
- ・部会員 : 浅田晴之(岡村製作所オフィス総合研究所)、伊藤雅人(ハーマンミラージャパン)、今井壽志(フォースアソシエイツ)、落合孝則(東工大)、加藤真由美(野村證券)、観音克平(構造計画研究所)、児玉達郎(東京電力)、塩川完也(NTT都市開発)、諏訪直俊(東京海上日動ファシリティーズ)、中嶋秀美(ワークショップマナ)、成田一郎(JFMA常務理事)、西端由和(プラススペースデザイン)、富本浩一郎(イトーキ中央研究所)、三ツ木美恵子(かんぱ生命)、森山政与志(日本郵政)、加藤信寛(JFMA事務局) その他フレンズメンバー多数

・活動概要

例会(メンバー全員ノ部内外講師による講義、施設見学等)

・日本ダイバーショナルセラピー協会 芦沢隆子セミナー

・コンセプトライン 仲田裕紀子セミナー 他

「ビル&オフィス評価手法(新版)」(時限)

関連する調査・研究

・オフィス3.0時代のユニバーサルデザイン(来年度への布石)

成果の情報発信・パブリシティ(メンバーの個人活動)

・JDNユニバーサルデザイン進行形(ウェブ)執筆: 仲田裕紀子

・管理建築士・建築士定期講習テキスト(ユニバーサルデザイン関連)執筆: 似内志朗

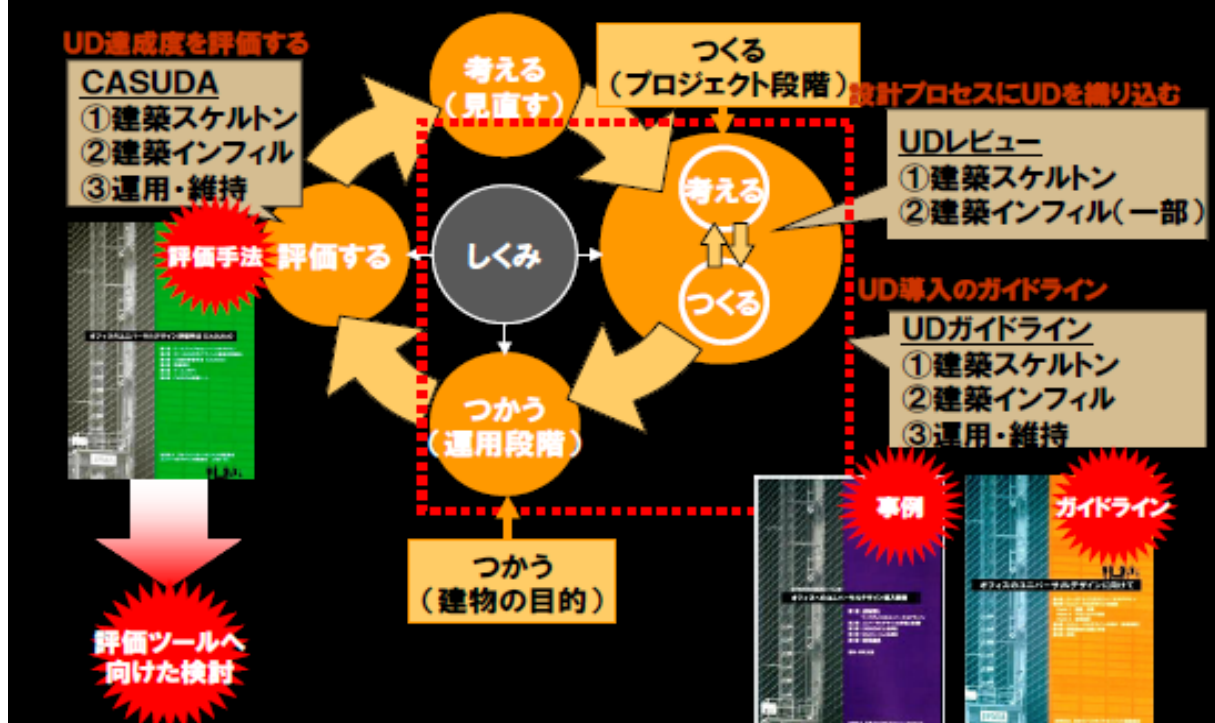
・その他

これまでの活動（詳細はJFMAホームページ内部データベースをご覧ください）

2002	国際UD会議（横浜）	WWP横浜会議	国内企業調査（JFMA）
2003	WWPプラハ会議	WWPダラス会議	日本建築学会大会
	FM国際大会	FM国際大会2004	企業事例セミナー
2004	国際UD会議（ブラジル）	ソウル大学講演	米国企業調査（IFMA）
	報告書UDガイドライン発刊	北海道UDシンポジウム	FM国際大会2005
2005	WWPフィラデルフィア	UDレビュー（UDC）	FM国際大会2006
	UDビル評価		
2006	国際UD会議（京都）	日本建築学会大会（3編）	
	報告書CASUDA発刊	ウィークリーセミナー	JFMAフォーラム2007
2007	報告書UD導入事例発刊	UD導入調査（LB社）	JFMAフォーラム2008
2008	報告書 講演記録	UD週末セミナー（22講演）	JFMAフォーラム2009
2009	月例セミナー（10講演）	UD評価制度の検討	JFMAフォーラム2010
2010	月例セミナー（9講演）	UD評価準備MTG（6回）	JFMAフォーラム2011
2011	月例セミナー（2講演）	UD評価準備MTG（1回）	JFMAフォーラム2012

これまでの成果（UDを実現する3つのツール）

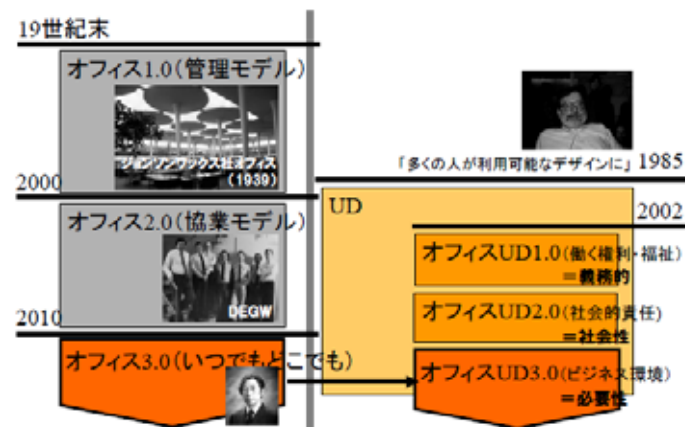
3つのツール、4冊の調査研究報告書。



テーマ1 オフィス3.0時代のユニバーサルデザイン (2012年の新規研究)

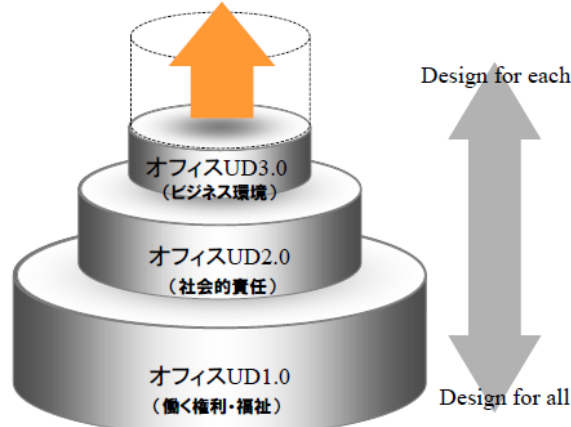
オフィス3.0時代のユニバーサルデザイン

オフィスの変化。ユニバーサルデザインの変化(3.0に深い意味はない)



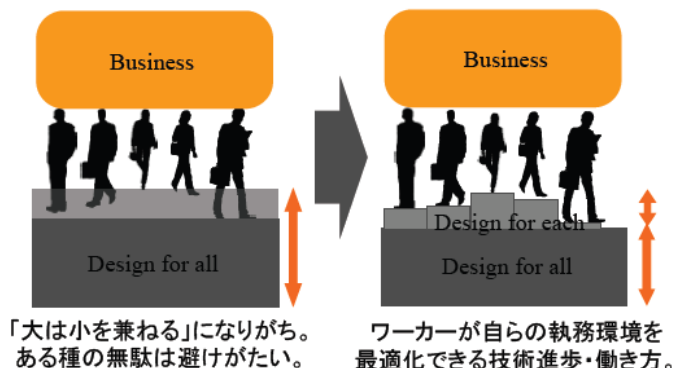
進化するオフィスのユニバーサルデザイン

UD3.0も、UD1.0、2.0の基盤の上にある。



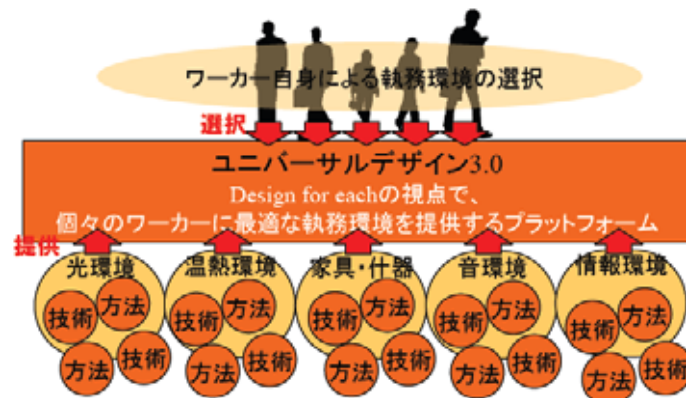
具体的な方法

すべてのワーカーに、ベストの執務環境というものはない。
個々のワーカーにとって働きやすい執務環境は異なる。
最終回答は「個々のワーカーが働きやすい執務環境へのカスタマイズ」



ワークステーション環境の選択

技術の進歩が、執務環境のカスタマイズを可能とする。
UD3.0では、これらをプラットフォーム捉える。



Design for eachを可能とする技術進歩

「知的照明システム」 同志社大学三木光範教授
(大手不動産会社、電機メーカー、家具メーカー等が参画)

- 生産性・創造性の向上と省エネルギーを実現
ワーカーは、仕事内容や好みに合わせ光環境を簡単に選べる
→ワーカーの知的生産性・創造性向上が期待。
→従来の蛍光灯照明設備と比べ、消費電力50%以上削減可能。

- ワーカー個人個人が天井照明(照度、色温度)を自在に選択。
ワーカーにpersonaliseした光環境で働くことができる。



今後の展開イメージ

今後、UD3.0について調査・研究を進めたい。

Design for each
コンセプト展開
(UD3.0)

調査

Design for eachを可能とする技術・手法

新しいUDプラットフォームの構築

チェックリスト

執務環境のカスタマイズのレベル評価

アンケート調査

既存ツール(評価手法等)への反映

